



JAグループとSDGs



2015年9月の国連サミットで、SDGs(持続可能な開発目標)が採択され、日本国内においてもSDGsの取り組みが広がっています。「協同組合」に対する社会的な重要性や期待も一層高まっています。

協同組合であるJAの事業・活動はSDGsの目標と親和性が高く、その多くはSDGsの目標と通じています。また、JAグループ全体の基本理念として掲げる「JA綱領」もSDGsの目指す考え方と合致しています。

JAグループがSDGsの達成に今後とも貢献していくため、JA全中では、2020年5月に「JAグループ SDGs取組方針」を策定するとともに、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に賛同し、「JAグループ SDGs取組宣言」を公表し、全国のJAでSDGsの達成に向けた取り組みが広がっています。

コロナ禍の今こそ「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」であるJAグループの出番です。JAグループは今後も、SDGsとJA綱領が共通して目指す「誰一人取り残さない社会の実現」に向け、JAグループSDGs取組方針に基づく実践に取り組んでまいります。

JAグループSDGs取組宣言

わたしたちJAグループは、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に賛同し、その達成に向けて、事業・活動に取り組めます。

JAグループは「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、組合員の皆さんの声に応えながら、不断の自己改革への取り組みを通じて、持続可能な地域農業・地域社会づくりに取り組んできました。今後はさらに、わたしたちの事業や活動が与える多面的な影響にも配慮しながら、地球的視野に立ち、地域社会を構成する一員として、組織・事業・経営の革新をはかり、社会的役割を誠実に果たします。JAグループは、各々の置かれた環境を踏まえて、SDGsの達成に向けて取り組んでいきます。

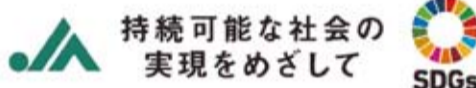
＜食料・農業事業分野＞

1. 持続可能な食料の生産と農業の振興に取り組めます
2. 持続可能なフードシステムの構築に取り組めます
3. 農業生産における環境負荷の軽減に取り組めます
4. 農業のもつ多面的機能を発揮していきます



＜地域・暮らし事業分野＞

5. 安心して暮らせる持続可能な豊かな地域社会づくりに貢献していきます



JAグループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

＜協同・組織運営分野＞

6. 国内外の多様な関係者・仲間との連携・参画につとめます



JAの食農教育



JAでは、管内小学校で食農教育活動を行っています。JAの食農教育は、一般的にいわれる食育とは少し違います。JAでは、「植える・育てる・収穫する・食べる」を田んぼや畑から食卓までの一貫体験で学習し、「つくる大切・食べる大切・農地水環境の大切」の学びを目的に食農教育活動を実践します。「食」と「農」の距離の接近により、地域農業を次世代につなげ、持続可能なものとしたいJAと組合員の願いのカタチでもあります。

具体的な活動では、田んぼの学校活動(主に田植え体験から稲刈り体験まで)、大豆栽培活動(種播き体験から収穫体験まで枝豆やお豆腐づくり)の支援、スクール農園の野菜苗の提供や、学校への出前講座などを行います。

速水小学校田植え

5月12日、速水小学校5年生41名が田植を体験しました。速水小学校の田んぼの学校活動は、JAも2011年度からご一緒させていただいています。地元農家の杉田さん、全農(全国農業協同組合連合会)、イオントップバリュ株式会社等が参加をされており、今年で12年目の取り組みになります。

児童らは、素足で田んぼに入る初めての感覚に戸惑う様子でしたが、しだいに慣れてくると、「苗をくださいー!」と元気な声が飛び交い、見る見るうちに田植えが終わりました。

田植え後には、地元農家の杉田さんから「株元の変化、色の变化など自分たちが植えた苗が育つ様子を観察してみてください」とお話がありました。

約1週間後の5月20日にはニゴロブナの親魚を水田に放流し、その約1か月後の6月20日頃には水田で2cm程に育ったニゴロブナの稚魚約3万匹を琵琶湖へ還す放流を児童らが行う予定です。

速水保育園に野菜苗を贈呈

5月11日JA北びわこ田中理事長が速水保育園を訪問し5歳児15名へ野菜苗の贈呈式を行いました。

園児から元気な声で「ありがとう」の言葉をいただき、田中理事長は「水やりも頑張って大きく育ててください」と伝えました。

今後も子どもたちに農業の楽しさや食の大切さを伝えられるように活動を続けていきます。



★6月のあなたの運勢★

双子座 【全体運】好調運。優先順位を決め効率的に動くよう心がけて。諦めずに挑戦し続ければ念願もかなう予感です 【健康運】ヘアケアに力を入れて。髪形を変えるのも吉 【幸運の食べ物】ツルムラサキ

牡牛座 【全体運】多少の無理なら聞いてもらえそう。あなたができることは率先して行うようにするとい関係構築 【健康運】香りの良いお茶でリラックスタイムを 【幸運の食べ物】ジュンサイ

牡羊座 【全体運】良好運。パワフルなのでエネルギーを注ぐ目標を定めるとより開運。笑顔を心がけ自分から話しかけていって 【健康運】歯科検診などお口の健康チェックを最優先 【幸運の食べ物】サヤエンドウ



農産物 直売所 ゆめまる館だより



地元産

トマト・キャベツ・ホウレンソウ・きゅうり・ナス



が出荷されます

米 特別栽培米コシヒカリプレミアム

30kg 9,600円 好評発売中!!! 店頭精米・量り売りもいたします

お花・種・仏花等も
品揃え豊富で
お待ちしております



- 住所 / 高月町高月1340-1
- 営業時間 / 9:30~16:00
- 定休日 / 毎週木曜日
- 電話番号 / 0749-85-6033

家の光図書 アウトレットセール 一律500円で販売中

両腕を上へ伸ばして首ひねり

基本の動き



(1) 左右の指を組んで手のひらを上に向けながら、腕をしっかり伸ばします。体は前を向いた状態で、そのまま息を吐きながら、首だけを右へゆっくりひねります。



(2) 息を吸いながら首を元の位置に戻します。次に、息を吐きながら左へゆっくりと首だけをひねります。

(3) (1)と(2)のセットを5回以上、リフレッシュできたと感じるまで行います。

ポイント

シンプルな動きだからこそ、ゆっくりと丁寧に味わうようにして行いましょう。呼吸を意識しながら、伸びたときの気持ち良さや、痛みや違和感など体の変化もチェックします。

手軽に健康 手指体操

健康生活研究所長 堤喜久雄

首・肩・背中の柔軟性アップ ステップ2

スマホネックやデスクワークなどに夢中になって、長時間同じ姿勢を取っていませんか。顔が下を向いた姿勢、あるいは首や背中が前かがみの姿勢が続くと、首や肩が凝ってきます。このようなときは往々にして呼吸も浅くなっています。ひどいときは、頭痛や手のしびれ、目まいや吐き気、さらには腰にも負担がかかると腰痛を引き起こす場合もあります。

大切なのは長時間同じ姿勢を続けない、悪い姿勢を固定化させないことです。そのためにも意識して姿勢を直し、適度な体操を行うことをお勧めします。前回に続いて、首・肩・背中の柔軟性を高め、これらの症状を軽減する体操をご紹介します。隙間時間に手軽にできる体操なので、毎日何度も行つと良いですよ。

人権

ウイルスよりも怖いもの

岡山県 岡山学芸館清秀中学校 二年 小西祥生さん

「岡山市在住です」

この張り紙を目にしたのは、昨年のゴールデンウィークのことだ。私はその時、家族と一緒に岡山市内をドライブしていた。前を走る車のナンバープレートが「多摩」であることに気づいた私は、「えっ、コロナ患者が多い東京から来ているの？岡山には、まだ患者がほとんどいないのに。嫌だなあ」と心の中で思った。しかし次の瞬間、私はハッととした。その車のトランクの蓋には、「岡山市在住です」と大きく書かれた張り紙があったのだ。東京ではなく岡山に住んでいると示している。この張り紙なしでは、そのドライバーは安心して運転できないと感じることが伝わってきた。どうしてこんな世の中になってしまったのだろうか。当時、新聞やニュースでは「他県ナンバー狩り」が話題になっていた。新型コロナウイルス感染症拡大を恐れた人達の一部は、地元ナンバー以外の車を見かけると、車のボディに傷をつけたたりして攻撃した。私はそのニュースを見るたびに、なんて馬鹿なことをしているのかと腹が立って仕方なかった。しかし、東京のナンバープレートを見たときの自分の反応はどうだろう。もしかすると、自分も彼らと同じなのかもしれない。「感染症」という目に見えないウイルスへの恐怖から、感染の疑いが少しでもある人や場所を自分から遠ざけ、排除しようとする差別の気持ちが、自分の中にも生まれていくことに気づき、とても恥ずかしくなった。

日本赤十字社によると、新型コロナウイルスには三つの感染症の顔があるという。一つ目は、病気としてのウイルス感染症。二つ目は、不安と恐れという感染症。そして三つ目は、嫌悪・偏見・差別という感染症だ。私はこの三つ目の感染症が、実は一番強敵なのかもしれないと感じている。悲しいけれど、特定の病気や患者に対する激しい偏見や差別はこれまでもあったと思う。例えば、ハンセン病がそうだ。

私が暮らす瀬戸内市邑久町には、国立ハンセン病療養所が二つある。地元なので、私は幼い頃、よく愛生園や光明園の夏祭りに家族と出かけた。夏祭り会場のある島に向かう橋を渡るとき、母が、「この橋は、昔はなかったんだよ。ハンセン病になった人達は、家族と離れて島から一生出られなかった。辛かっただろうに。今はこの橋のおかげで、こうやってお互い自由に行き来できる。すごい橋なんよ」と話してくれたことを思い出す。

夏祭り会場では、入所されていた元患者さん達が、車いすに乗って盆踊りの様子をじっと見ていた。その中には、口元や耳の形が変わっている人もいた。幼かった私は、最初怖いと感じてしまった。

しかし、側にいた大人の女性が元患者さんに普通に話しかけ、一緒に楽しそうに笑っている姿を見たとき、「ああ、別に怖がらなくてもいいんだ」と安心したのを今でも覚えている。あの時の女性の自然で正しい対応を見て、ハンセン病に対する私の恐怖心は、すうっと消えていった。子どもは大人の行動や態度を見て、相手が嫌悪・偏見・差別の対象になるのか判断する傾向があると思う。一人一人の正しい言動は、不安や恐れや差別への抑止力になるのだ。あの日の女性のように、私も正しい言動で次の世代の差別を止められる存在になりたいと思う。

夏祭り後も私は小学校で、ハンセン病について学ぶ機会に恵まれた。今ではハンセン病は薬で治療できる病気であること、うつる可能性はほとんどないこと、遺伝しないことなどの事実を学び、ハンセン病が恐れや差別の対象ではないことを改めて確認した。社会見学で光明園を訪れたとき、元患者さんが、「こんな悲しい歴史がここであつたことを忘れてほしくない。二度とこんな悲しい思いをする人がいない社会にしてください。」と語られたことが忘れられない。ハンセン病での過ちを私達は決して繰り返してはいけない。それなのに、コロナ禍の毎日、私達はその学びを活かしていないように感じる。

考えてみると、ハンセン病と新型コロナウイルス感染症は似ている。守られるはずの患者やその家族が、周囲からの偏見や差別にさらされてしまう点が共通していると思う。しかし、私は学んだ。嫌悪・偏見・差別の元となる不安や恐れを絶つには、うその情報に惑わされず、事実を正しく学ぶことが、とても大切なのだ。

新型コロナウイルス感染症がまた拡大している今、予防を徹底しても、感染してしまう可能性は誰にでもあると思う。その時には、相手を「排除する」のではなく、「一緒に治療しよう」という温かい社会を私達で作っていきたい。私達一人一人の言動で、社会は変わるのだから。

やさしさ・ふれあい

もう1度考えよう 職場での人権



人権は、様々な人たちがいっしょに働く「職場」においても、重要なキーワードとなります。年齢、性別、国籍をはじめ、価値観やものの見方一つをとっても、誰一人として同じ人はいないため、時に様々な形で相手の人権を傷つける「ハラスメント」が起きてしまうことがあります。みんなが生き生きと働けるハラスメントの無い職場づくりについて、一緒に考えてみましょう!

JAグループ滋賀

発行 / JA 滋賀中央会・JA 滋賀同和対策本部
〒520-0807 大津市松本一丁目 2-20 TEL 077 (521) 1619
<http://www.jas.or.jp/>

魚座 【全体運】お金で解決できる問題なら出し惜しみしないのが得策。終わらせることで新しい道が開けます。部屋の片付け吉 【健康運】腹も身の内。腹八分目を心がけましょう 【幸運の食べ物】キュウリ

水瓶座 【全体運】状況が好転。良い知らせが届きそう。旅行など遊びに行く計画を立てるのがお勧め。思いやりあふれる言動にツキ 【健康運】友人たちとスポーツを楽しみましょう 【幸運の食べ物】パプリカ

山羊座 【全体運】表面的には穏やかでもはらわたが煮えくり返るようなことがあるかも。よく観察し冷静に。相手の術中にはまらないで 【健康運】やり過ぎは駄目。無理せずスローペースで 【幸運の食べ物】オクラ

